

南信州担い手就農研修制度

独立就農のためには事前に栽培技術・知識を習得することが必須。「南信州・担い手就農プロデュース」では、行政とJAの協働により「担い手就農研修制度」を立ち上げて、平成30年度から研修生を受け入れています。（※研修生はHPにて募集）

栽培できる品目が多数ある南信州農業の中から、就農後早期に収入となり、収益性の高い「夏秋きゅうり」と地域の特産品で収益性も高く将来性のある干し柿「市田柿」の栽培を組み合わせた「推奨複合経営モデル」をベースとした研修をおこなっています。

今後新たな研修品目を加えた研修体制と、市町村及び管内農業法人と連携した研修体制も構築予定です。



南信州が推奨する/ 就農モデルのご紹介

営農における収益性が高く、早期に収入を得られる品目など、新規就農に適した経営モデルを設定しています。

主な経営モデル

- O型** 夏秋きゅうり+市田柿(複合タイプ)…イチオシ推奨研修モデル
- I型** 果実類・野菜類+市田柿(市田柿タイプ)…市田柿メイン
- II型** 桃+ぶどう+市田柿(果実複合タイプ)…果樹経営
- III型** きのご専業or兼業(施設複合タイプ)…通年きのご栽培
- IV型** 肉牛or肉豚専業…畜産専業
- V型** 果実・野菜・花き複合型
- X型** 半農半Xとして暮らしに農業をマッチさせる!



その他様々な組み合わせモデルと一緒にプランニングします!

夢を現実の舞台へ… 担い手就農研修生の声

担い手就農研修生は「農業」への夢を膨らませて就農研修を開始し、夢の実現への第1歩を踏み出しています。



都内就農相談会で研修生夫婦のリアルな声を発信!

夢を叶えた、40代男性

南信州での就農を決意し、夫婦と息子の3人で移住しました。夫は2年間の研修、妻と息子は農産物直売所に勤務し、半農半Xを実現しています。

家族で農業をやりたいという夢があり、南信州への移住を決意しました。初めての農作業は正直きつい時もありますが、夢の実現に向けて流す汗は大きな価値があると思います。家族で生き生きと南信州での生活を送っており、2人の指導マネージャーの丁寧な指導のもと、独立就農に向けて準備を進めています。